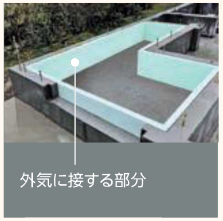
1 省エネ仕様 断熱材の熱抵抗R
充填断熱工法 軸組構法

確認する基準は、断熱材の熱抵抗Rです。部位ごとに熱抵抗R を確認してください。
1つの部位に複数の仕様がある場合は、全ての仕様について 確認し、性能が低い仕様（熱抵抗Rが小さい方）を記入してください。

◎1つの部位で複数の断熱工法を採用する場合は、それぞれの工法ごとに基準値を満たす必要があります。
◎1つの部位で断熱材を複層化した場合は、それぞれの熱抵抗の値を合計することができます。

屋根		R ≧ 4.6
仕様例 高性能グラスウール16K	90+90 mm	R = 4.8
仕様例 押出法ポリスチレンフォーム3種bA	65+65 mm	R = 4.6
製品名（又は 断熱材の種類）	厚さ mm	R

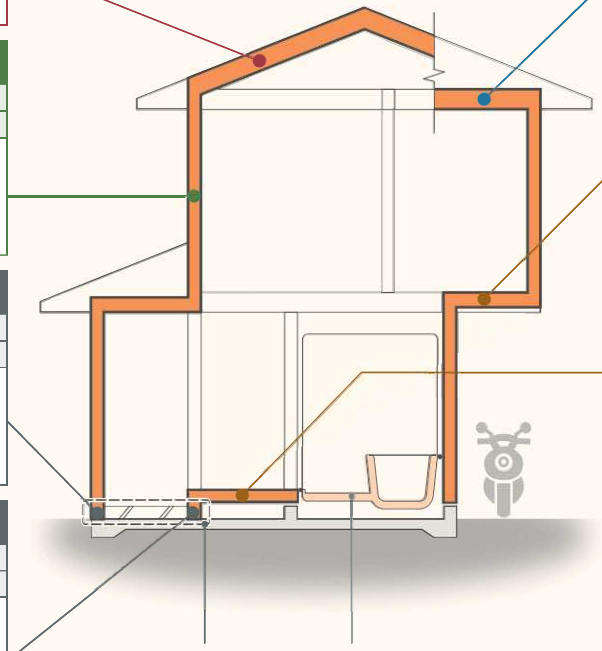
壁		R ≧ 2.2
仕様例 高性能グラスウール14K、又は16K	85mm 以上	R = 2.2以上
仕様例 ロックウール	90mm 以上	R = 2.2以上
製品名（又は 断熱材の種類）	厚さ mm	R



土間床等の外周部分の 基礎壁（外気に接する部分）		R ≧ 1.7
仕様例 押出法ポリスチレンフォーム3種bA	50 mm	R = 1.8
仕様例 硬質ウレタンフォーム（ボード状）2種2号D	40 mm	R = 1.8
製品名（又は 断熱材の種類）	厚さ mm	R

土間床等の外周部分の 基礎壁（その他の部分）		R ≧ 0.5
仕様例 押出法ポリスチレンフォーム3種bA	20 mm	R = 0.7
仕様例 硬質ウレタンフォーム（ボード状）2種2号D	25 mm	R = 1.1
製品名（又は 断熱材の種類）	厚さ mm	R

当該住宅の仕様を記入



玄関、勝手口等の土間床部分の断熱については、省略することができます。

断熱されているバスユニットの床は、床（その他の部分）の適否確認を除外できます。

天井		R ≧ 4.0
仕様例 高性能グラスウール14K、又は16K	155 mm	R = 4.1
仕様例 ロックウール	155 mm	R = 4.1
製品名（又は 断熱材の種類）	厚さ mm	R

床（外気に接する部分）		R ≧ 3.3
仕様例 押出法ポリスチレンフォーム3種bA	100 mm	R = 3.6
仕様例 フェノールフォーム1種2号C、又はD	66（C）、又は 63（D）mm	R = 3.3
製品名（又は 断熱材の種類）	厚さ mm	R

床（その他の部分）		R ≧ 2.2
仕様例 押出法ポリスチレンフォーム3種bA	65 mm	R = 2.3
仕様例 フェノールフォーム1種2号C、又はD	45 mm	R = 2.3
製品名（又は 断熱材の種類）	厚さ mm	R

➡「断熱材の種類」は P.20 を参照
➡「熱抵抗 R」は P.19 を参照
➡「その他の部分」は P.24 を参照

基礎に断熱する場合、防蟻措置が必要な地域においては、別途、断熱材メーカー、建材店等に相談してください。

断熱材の熱抵抗Rを調べる方法（上記以外の仕様も確認できます。）

断熱建材協議会のホームページで
断熱材の熱抵抗Rを調べる

基準に適合する断熱材の具体的な製品については、断熱建材協議会のホームページに掲載されています。

断建協

https://dankenkyou.com/energy_saving.html

Web や カタログ等で
断熱材の熱抵抗Rを調べる

製品ごとに熱抵抗Rが記載されていますので、断熱材の種類や厚さに応じた数値を確認してください。

熱抵抗 R［㎡·K/W］ カタログによって、「熱抵抗値」「熱抵抗（R値）」等、表記が異なっています。

JISによる表記	品番	密度	寸法[mm] 厚さ	巾	長さ	入数	使用箇所	熱抵抗値 R［㎡·K/W］
GWHG 14-38	#####001	高性能 14	85	395	2880	10枚	柱・間柱	2.2
	#####002			430			間柱・間柱、屋根	
	#####003			470			間柱・間柱、屋根	
	#####004		90	395			柱・間柱	2.4
	#####005			430			間柱・間柱	